

このため、商業を中心に幕府財政を立て直そうとしている意次は、商人と組んで汚いことをしているとしか写らず、次第に他の幕閣から孤立していきました。

2点目は、改革の途上で日本史上最悪の天災である「天明の大飢饉」が起こったことです。1783年、岩木山そして浅間山が相次いで噴火、その火山灰が大気中に拡散したことにより、大冷害が発生しました。東北では、全く米が収穫できなくなり、全国で餓死者と疫病による死者は、30万人余に上ったと伝えられています。

このため、各地で百姓一揆・打ち壊しが激発したことにより、ただでさえ人気のなかった意次は失脚してしまった訳です。

■田沼意次まとめ

田沼意次の採った政策は、決して全て成功したわけではありませんが、市場経済下という時代の趨勢をしっかりと見据えて対応しようという姿勢は非常に的確なものであり、また、その改革の狙いとした幕府の財政基盤の確立には成功しています。1770年には、幕府の備蓄金は171万7529両に達し、5代将軍綱吉以降における最高額を記録しています。

「悪徳政治家」「賄賂の帝王」と称された田沼意次ですが、時代から100年先駆けて生まれた商業のわかる宰相ではなかったかと思えます。

池波正太郎の「剣客商売」を枕にした田沼意次の話は終わりにさせて頂き、税務署の本年度の重要課題である「国税電子申告・納税システム（通称e-Tax）」の利用・拡大についてお願いをさせていただきます。

■「国税電子申告・納税システム（e-Tax）」について

最近の税務行政を取り巻く環境は、我が国社会の少子・高齢化の進展や急速なグローバル化・IT化に伴う社会経済の変化という大きな流れに加え、昨年のサブプライム問題を契機として、内外の経済情勢が急激な変化を見せ、非常に厳しい状況下にあると言えます。

こうした中で、「内国税の適正・公平な賦課と徴収の実現」という国税当局に課された使命を果たし、国民の負託に応えていくためには、これまで以上に納税環境の整備を図るとともに、適正公平な税務行政をより効果的・効率的に遂行し、国民の皆様方の理解と信頼を得ていく必要があると考えております。

この申告納税制度をより機能的に発展させ、かつ、納税者の皆様の利便性を向上させる手段として大きな期待が寄せられているのが、いわゆるe-Taxの普及・拡大です。

このe-Taxは、自宅にいながらインターネットを利用して国税に関する様々な申告・申請・届出・納税等の手続きが行えるシステムで、申告・納税の際の納税者の負担軽減を目的に導入されたものです。

まだご利用されていない方は、ぜひe-Taxを利用して申告して頂きますようお願い致します。

新会員

名前 宮路猛(みやじたけし)君

1967年4月28日

職業分類 建築物清掃

事業所 (有)トータルポリッシュ

役職名 代表取締役

家族 妻・長女(高1)・長男(小6)・二女(小3)

趣味 読書

その他 アルコールは何でも飲みます。

タバコはやめました。

ひと言

伝統ある沼津北ロータリークラブに入会させて頂き、誠に有難うございます。一人前のロータリアンになれるよう、諸先輩方にご指導を賜りながら、努力してまいりたいと思います。よろしくお願い致します。

